

ヒゲジロホソコバネカミキリ *Necydalis odai* Hayashi

【選定理由】

自然度の高い森林中に生息するカミキリムシで、県内では設楽町の原生林のみから知られている。

【形態】

体長 14～25mm。ホソコバネカミキリの仲間は県内に 5 種が生息するが、いずれも上翅が非常に短く、頭部と前胸背を合わせた長さとはほぼ同じ程しかない。類似種とは、触角の 8～10 節が白色であることから区別できる。

【分布の概要】

【県内の分布】

県内では設楽町（水谷，1981）の原生林のみから知られる。

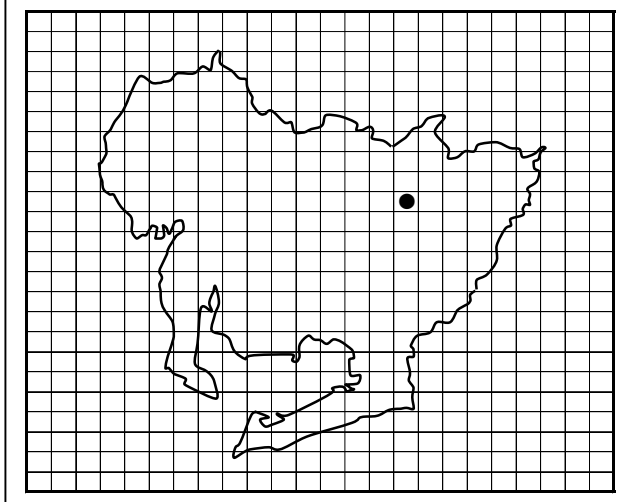
【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州に分布する。

【世界の分布】

日本の特産種である。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

ブナ林に生息するが、一般的に自然度の高い森林に依存する。成虫は 7～8 月に出現し、ミズナラの立ち枯れ、腐朽部に集まる。幼虫もミズナラの立ち枯れ、朽木を食べる。

【現在の生息状況／減少の要因】

1980 年頃に設楽町の原生林内で本種の発生木が発見され、多数の個体が確認された。近年でも未公表ながら採集されている。他府県にくらべてブナ林の面積が狭いことを考慮すると、生息地盤が脆弱であることは間違いない。周辺の環境は、1980 年当時と大幅な改変はない。

【保全上の留意点】

生息域であるブナ林の面積をこれ以上減少させないことが必要である。現在の原生林の環境を守るため、特に原生林に接する道路では、林縁部の過度な伐採は、林内への悪影響をもたらす危険性が高く、慎重な配慮が必要である。また、原生林内または周辺の枯死木は、本種および朽ち木生の昆虫類の重要な発生木となる可能性が高いので、むやみに切り倒したり、除去したりしないよう林業関係者には留意されたい。

【引用文献】

水谷高弘, 1981. 愛知県にてヒゲジロホソコバネカミキリを採集. 月刊むし, (124): 33.

【関連文献】

佐藤正孝ほか, 1990. 愛知県の甲虫. 愛知県の昆虫, (上): 200-477. 愛知県.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)